

ヒマワリ観光3千人超

大曲のライトアップ来場者

満開のヒマワリ畑を星空の下に照らし出した大曲湖畔園地のライトアップの来場者数がまとまった。実働5日間で昼夜合わせて3400人が来場。網走だけの景観を楽しんだ。ライトアップは10日から16日の7日間だったが、15日と16日の2日間は強い雨のため、開催を見送った。5日間の入り込みは昼2200人、夜1200人だった。

同園地に広がる約18

万のヒマワリ畑を工事用照明機材や投光器で照らした。約150万本のヒマワリが闇夜に浮かび上がり、幻想的な光景を作り出した。開放し始めた午後7時ごろから観光客や家族連れが訪れ、「きれいだね」などと幻想的な花畑を見学。写真愛好家も数多く、星と花のコラボ写真を撮るカメラマンの姿もあった。友愛荘や北天の丘あばしり湖鶴雅リゾートなどのホテルは夜間、

宿泊者用の送迎バスを運行。多くの観光客がライトアップを堪能した。日中は観光バスの来場もあった。

網走在住のケーナ奏者・笠谷俊一さん（網走工業社長）の夜間コンサートも催され、観光客らに癒しの音楽をプレゼントした。

同園地で収穫した無農薬のトウモロコシ「サニーシヨコラ」とジャガイモ「北あかり」を直売もぎたて、ゆでたてのトウモロコシは観光客らに大好評だった。同事業は秋季の観光閑散期の入り込み対策として市が実施した。